

【都道府県用中間報告書様式】

都道府県番号	26
都道府県名	京 都 府

【都道府県教育委員会における学力向上フロンティア事業の取組】

I. 学力向上推進地域名及び学校数、学力向上フロンティアスクール数

学力向上推進地域名	小学校 (うちフロンティアスクール)	中学校 (うちフロンティアスクール)	計 (うちフロンティアスクール)
京都府学力向上推進地域	442校 (12校)	179校 (6校)	621校 (18校)

II. 学力向上推進協議会（地区協議会）の設置数及び域内の学校数

地区協議会名	小学校 (うちフロンティアスクール数)	中学校 (うちフロンティアスクール数)	計 (うちフロンティアスクール数)
①京都市内地区協議会 (京都市)	182校 (6校)	80校 (2校)	262校 (8校)
②乙訓地区協議会 (向日市、長岡京市、 大山崎町)	18校 (1校)	8校 (0校)	26校 (1校)
③山城地区協議会 (宇治市、久御山町、 城陽市、宇治田原 町、八幡市、井手町、 京田辺市、木津町、 山城町、精華町、加 茂町、和束町、笠置 町、南山城村)	83校 (1校)	33校 (1校)	116校 (2校)
④北桑田市地区協議会 (京北町、美山町)	8校 (0校)	2校 (1校)	10校 (1校)
⑤南丹地区協議会 (亀岡市、園部町、 八木町、日吉町、 丹波町、瑞穂町、 和知町)	39校 (1校)	14校 (1校)	53校 (2校)
⑥中丹地区協議会 (綾部市、福知山市、 舞鶴市、三和町、 夜久野町、大江町)	61校 (1校)	24校 (1校)	85校 (2校)
⑦与謝地区協議会 (宮津市、岩滝町、 野田川町、加悦町、 伊根町)	20校 (1校)	9校 (0校)	29校 (1校)
⑧丹後地区協議会 (峰山町、大宮町、 網野町、弥栄町、 久美浜町)	31校 (1校)	9校 (0校)	40校 (1校)

Ⅲ. 都道府県教育委員会としての支援策（実践研究の成果の普及方策の構築、指導資料の作成 等）

○地区別協議会に対して

- ・ 京都府学力充実推進協議会の開催による指導支援
- ・ 教育局別学力向上対策会議の中に、フロンティアスクールにおける実践研究の報告及び授業公開の場を設ける。
- ・ 「授業改善・評価に関する指導資料集（ハンドブック）」の作成

○域内の学校（学力向上フロンティアスクール含む）に対して

- ・ 教育局別学力充実対策会議の開催により、域内の学校にフロンティアスクールの実践研究の普及を図る。
- ・ フロンティアスクールに対しては、指導支援チームを編成し、指導助言、情報提供等の支援を行う。
- ・ フロンティアスクールが情報発信するため、自校のホームページを作成するための研修会の開催

Ⅳ. 学力把握のための都道府県としての取組について

- ・ 全府的（京都市を除く）に小学校基礎学力診断テストを実施（年1回）

V. 学力向上推進協議会について

○開催時期（参加対象）

(第1回) 平成14年5月9日（指導主事、教員等）
(第2回) 平成15年2月4日（指導主事、教員等）

○テーマと主な協議内容（協議の中で提示された成果や課題など）

(第1回)「テーマ：学力向上フロンティアスクールの適切な運営を図るため、研究方法とその他必要な事項について連絡協議を行う。」

○ 主な協議内容

- ・ フロンティア事業の趣旨説明に基づき研究の進め方について協議
- ・ 各フロンティアスクールの研究テーマ、研究内容、研究方法について協議し、指導主事による指導助言を行う。

(第2回)「テーマ：児童生徒の学力充実の向上を図るための実践研究・開発の成果について交流を行う。」

○ 主な協議内容

- ・ フロンティアスクールの代表校による実践研究の発表
- ・ 各フロンティアスクールにおける1年次の取組の成果・課題等を協議

○ 成果

- ・ 代表校の発表から、習熟の程度に応じた指導方法の有効性が明らかになった。
- ・ データを基にした取組の重要性について認識を深められた。

○ 課題

- ・ フロンティアスクールにおける実践研究の成果の普及方法

VI. 実施計画書において示した「事業評価の実施方法・内容」とその進捗状況

(事業評価の実施方法・内容)

- ・ 地区協議会において、取組状況を評価し、研究内容を高めるため適宜交流する。
- ・ 児童生徒の学力状況や意識調査など、研究成果の実証的な把握に努める。

(進捗状況（成果、課題 等）)

- ・ 地区協議会で、フロンティアスクールにおける実践研究の取組を報告及び授業公開する場を設けた。
- ・ フロンティアスクールの成果・課題について研究協議し、域内の学校に普及を図ることができた。
- ・ 研究成果を実証的に検証することが今後の課題である。

【地区別協議会における特色ある取組】

(地区内の学校に対する支援策)

- ・ 小中連携による系統的な学力把握、連携授業、教材開発の推進
(乙訓地区協議会)
- ・ 学力充実・向上を図るために実践交流会を設ける。(山城地区協議会)
- ・ 地域人材等とのTT的な指導を取り入れるなど、課題解決的な学習を推進
(北桑田地区協議会)
- ・ 授業を伴う研究会の実施による個に応じた指導の在り方の研究実践の推進
(南丹地区協議会)
- ・ 少人数授業や習熟の程度に応じた授業等を充実させるための授業研究会の開催
による研究の推進 (中丹地区協議会)
- ・ 合同授業研究など校種間の連携を図る取組の推進 (与謝地区協議会)
- ・ 小中連携した授業改善の取組の推進 (丹後地区協議会)
- ・ 関係課の指導主事による合同学校訪問での指導助言 (京都市地区協議会)

(実践研究の成果の普及方策)

- ・ フロンティア校の授業研究会等を開催し、習熟の程度に応じた授業研究成果の
普及に努めた。(全地区協議会)